



## 「今年のスポーツ感動ランキング2021」

スカパー！は、プロ野球やサッカーをはじめ、様々なスポーツに関するコンテンツを提供しています。

全国の男女が今年一年、スポーツでどのような経験をし、何に感動したのかを把握するため、全国の15歳～69歳の男女1,000名を対象に、2021年11月5日(金)～11月8日(月)の4日間で、「今年のスポーツ感動ランキング調査」をインターネット調査により実施し、『今年のスポーツ感動ランキング2021』としてまとめました。

(調査協力会社: ネットエイジア株式会社)

### 《今年一年のスポーツ観戦を振り返り》

「スポーツをテレビ観戦する機会が昨年より増えた」33%、10代では47%

「今年、家族と一緒にスポーツ観戦することが多かった」50%、女性では60%

今年、夢中になって観戦したスポーツ 1位「野球」2位「サッカー」3位「卓球」4位「柔道」5位「バスケットボール」、  
「ゴルフ」「テニス」はTOP10にランクイン 女性では「卓球」が「野球」と並んで1位に  
10代と50代では「卓球」が2位

今年のスポーツ観戦での経験 「うれしくてガッツポーズした」40%、「うれしくて涙した」20%、  
「プレーに驚き思わず声を出してしまった」48%、「結果が信じられなく頭が真っ白になった」15%

「今年、試合結果のネタバレを経験した」21%、10代では27%

「今年、選手やプレーのデータを確認しながら観戦した」26%、10代では35%

2021年のスポーツでの驚きの出来事 「大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍」がダントツ  
2位「卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金」、3位「バスケットボール・女子日本代表がオリンピックで銀」、  
4位「ソフトボール・日本代表がオリンピックで金」、5位「プロ野球・新庄剛志が日本ハム監督に就任」

今年の「スポーツ界」を表す漢字 「金」がダントツ、2位「輪」3位「静」4位「五」5位「翔」

### 《今年一年のスポーツ感動ランキング》

**-感動をありがとう！今年、感動を与えてくれたスポーツ選手-**

今年、感動させてくれたスポーツ選手

1位「大谷翔平」2位「水谷隼」3位「伊藤美誠」4位「池江璃花子」5位「上野由岐子」  
6位「阿部一二三」7位「内村航平」8位「松山英樹」9位「大橋悠依」10位「阿部詩」「堀米雄斗」

最後まで感動を与えてくれたプロ野球・引退選手 「松坂大輔(西武)」がダントツ  
北海道・東北では「斎藤佑樹(日本ハム)」が1位、九州・沖縄では「長谷川勇也(ソフトバンク)」が1位

**-東京2020オリンピック・パラリンピックでの感動は?-**

「東京2020オリンピックを観戦した」73%、60代では82%

「東京2020パラリンピックを観戦した」37%、60代では51%

東京2020オリンピックで感動した競技 男性が選ぶ1位「野球・ソフトボール」、女性が選ぶ1位「卓球」  
10代では「水泳」が3位、30代では「バスケットボール」が3位

東京2020パラリンピックで感動した競技 男性が選ぶ1位「車いすテニス」、女性が選ぶ1位「車いすバスケ」  
30代と60代では「ボッチャ」が1位、50代では「車いすテニス」が1位

### 《来年のスポーツ界に対する期待》

**-もう待ちきれない！2022年のスポーツで楽しみにしていることは?-**

2022年、きっと感動させてくれると思うスポーツ

1位「野球」2位「サッカー」3位「フィギュアスケート」4位「卓球」5位「スキージャンプ」、  
「スピードスケート」「スノーボード」はTOP10にランクイン

来年の活躍を期待している選手 「大谷翔平」がダントツ  
2位「羽生結弦」3位「伊藤美誠」4位「池江璃花子」5位「佐藤輝明」、10代では「羽生結弦」が1位に



### 調査結果

#### 《今年一年のスポーツ観戦を振り返り》

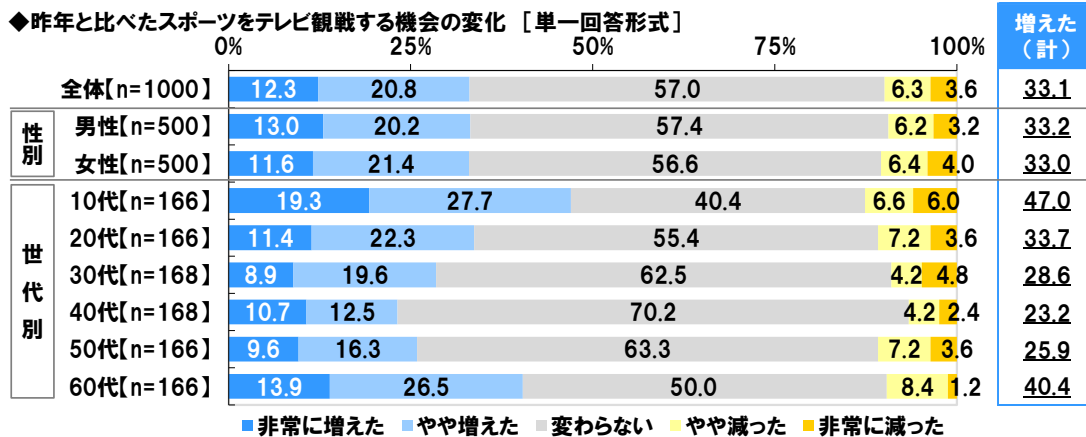
◆「スポーツをテレビ観戦する機会が昨年より増えた」33%、10代では47%

◆「今年、家族と一緒にスポーツ観戦することが多かった」50%、女性では60%

全国の15歳～69歳の男女1,000名(全回答者)に、今年のスポーツ観戦について質問しました。

全回答者(1,000名)に、スポーツをテレビ観戦する機会は、昨年と比べてどのように変化したか聞いたところ、「非常に増えた」が12.3%、「やや増えた」が20.8%で、合計した『増えた(計)』は33.1%となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛や観客数制限の影響を受け、スポーツをテレビで楽しむ機会の増加を実感する人が3人に1人となりました。

世代別にみると、テレビ観戦の機会が増えたと回答した人の割合は、10代(47.0%)と60代(40.4%)で高くなりました。

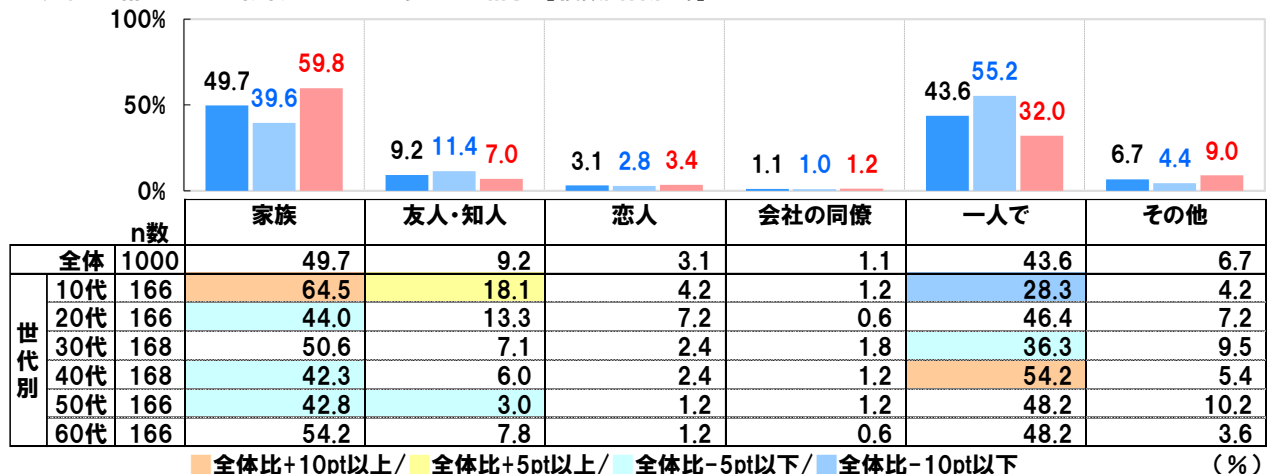


今年、誰と一緒にスポーツ観戦をすることが多かったか聞いたところ、「家族」(49.7%)が突出して高く、「一人で」(43.6%)が続きました。

男女別にみると、男性では「一人で」(55.2%)が最も高く、女性では「家族」(59.8%)が最も高くなりました。

世代別にみると、10代では「家族」(64.5%)、40代では「一人で」(54.2%)が突出して高くなりました。

◆今年、一緒にスポーツ観戦をすることが多かった相手 [複数回答形式]





◆今年、夢中になって観戦したスポーツ 1位「野球」2位「サッカー」3位「卓球」4位「柔道」5位「バスケットボール」、  
 「ゴルフ」「テニス」はTOP10にランクイン 女性では「卓球」が「野球」と並んで1位に  
 10代と50代では「卓球」が2位

全回答者(1,000名)に、今年夢中になって観戦したスポーツを聞いたところ、1位「野球」(26.5%)、2位「サッカー」(17.6%)、3位「卓球」(13.1%)、4位「柔道」(7.6%)、5位「バスケットボール」(7.0%)となりました。そのほか、「ゴルフ」(6.2%)は8位、「テニス」(6.0%)は10位に挙がりました。

男女別にみると、女性では「卓球」(15.6%)が「野球」(15.6%)と並んで1位となりました。

世代別にみると、10代から60代の全ての世代で「野球」が1位となり、10代と50代では「卓球」が2位、その他の世代では「サッカー」が2位でした。

◆今年、夢中になって観戦したスポーツ [複数回答形式] ※上位10位までを表示

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
順位	スポーツ	%	順位	スポーツ	%	順位	スポーツ	%
1位	野球	26.5	1位	野球	37.4	1位	野球	15.6
2位	サッカー	17.6	2位	サッカー	23.6		卓球	15.6
3位	卓球	13.1	3位	卓球	10.6	3位	サッカー	11.6
4位	柔道	7.6	4位	柔道	8.6	4位	体操・新体操	9.0
5位	バスケットボール	7.0		ゴルフ	8.6	5位	バレーボール	8.0
6位	陸上競技	6.9	6位	バスケットボール	7.8	6位	水泳	7.6
7位	水泳	6.6	7位	陸上競技	7.6	7位	柔道	6.6
8位	ゴルフ	6.2	8位	プロレス・格闘技(柔道除く)	6.6	8位	バスケットボール	6.2
9位	体操・新体操	6.1		テニス	6.2		陸上競技	6.2
10位	テニス	6.0	9位	ラグビー	6.2	10位	テニス	5.8

◆今年、夢中になって観戦したスポーツ [複数回答形式] ※上位3位までを表示

10代[n=166]		%	20代[n=166]		%	30代[n=168]		%
1位	野球	22.3	1位	野球	31.9	1位	野球	28.0
2位	卓球	15.7	2位	サッカー	21.7	2位	サッカー	17.3
3位	バレーボール	13.3	3位	卓球	7.8	3位	卓球/バスケットボール	10.7
40代[n=168]		%	50代[n=166]		%	60代[n=166]		%
1位	野球	20.8	1位	野球	25.9	1位	野球	30.1
2位	サッカー	19.6	2位	卓球	16.3	2位	サッカー	19.3
3位	卓球	11.3	3位	サッカー	15.1	3位	卓球	16.9



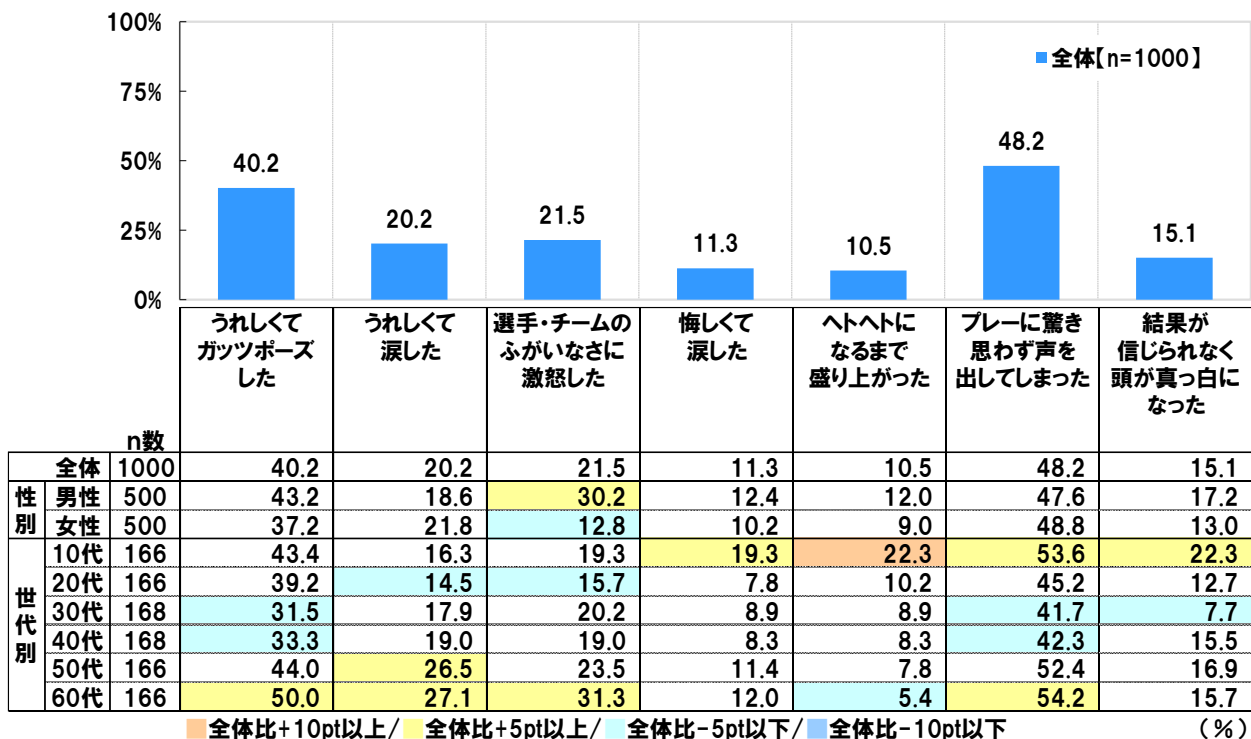
### ◆今年のスポーツ観戦での経験 「うれしくてガッツポーズした」40%、「うれしくて涙した」20%、「プレーに驚き思わず声を出してしまった」48%、「結果が信じられなく頭が真っ白になった」15%

全回答者(1,000名)に、今年のスポーツ観戦での行動や経験を挙げて、それらの有無を聞いたところ、【うれしくてガッツポーズした】では「あった」と回答した割合は40.2%、【うれしくて涙した】では20.2%となりました。うれしさのあまり思わず喜びを体で表現した人や、歓喜の涙を流したという人は少なくないようです。他方、【選手・チームのふがいなさに激怒した】では21.5%、【悔しくて涙した】では11.3%となりました。スポーツ観戦でカッと熱くなった人や選手と一緒に悔しさを噛みしめたという人もいます。また、【プレーに驚き思わず声を出してしまった】では48.2%、【結果が信じられなく頭が真っ白になった】では15.1%となりました。

男女別にみると、男性では【選手・チームのふがいなさに激怒した】を経験した人の割合は30.2%と、女性(12.8%)と比べて17.4ポイント高くなりました。

世代別にみると、10代では【ヘトヘトになるまで盛り上がった】を経験した人の割合が22.3%と、全体と比べて高くなりました。

### ◆今年のスポーツ観戦での行為・振る舞い [各単一回答形式] ※「あった」の割合を表示





◆「今年、試合結果のネタバレを経験した」21%、10代では27%

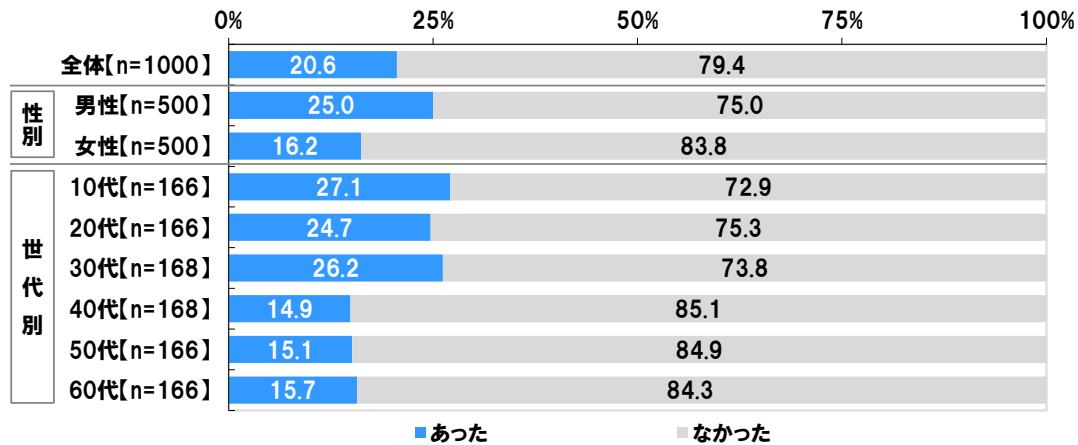
◆「今年、選手やプレーのデータを確認しながら観戦した」26%、10代では35%

また、【試合結果がネタバレした】(※)では「あった」と回答した割合は 20.6%となりました。SNSなどで、楽しみにしていた試合の結果を知ってしまったという人は少なくないようです。

世代別にみると、試合結果のネタバレを経験した人の割合は、10代(27.1%)・20代(24.7%)・30代(26.2%)で高くなりました。

※後から見ようと思っていた試合の結果を SNS など知ってしまうこと

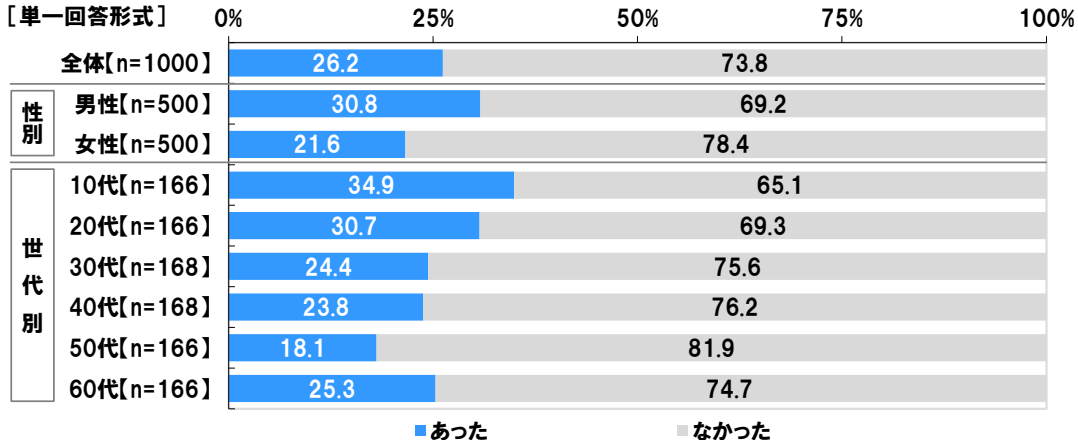
◆今年のスポーツ観戦における「試合結果がネタバレすること」の有無 [単一回答形式]



続いて、【選手やプレーのデータ(スタッツなど)を確認しながら観戦した】では「あった」と回答した割合は 26.2%となりました。4人に1人が、選手のプロフィールやプレー情報をウェブやアプリなどで参照しながら観戦するスタイルを経験したようです。

世代別にみると、選手やプレーのデータを確認しながら観戦することがあった人の割合は、10代(34.9%)が最も高くなりました。

◆今年のスポーツ観戦における「選手やプレーのデータ(スタッツなど)を確認しながら観戦すること」の有無 [単一回答形式]






**◆2021年のスポーツでの驚きの出来事「大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍」がダントツ**

**2位「卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金」、3位「バスケットボール・女子日本代表がオリンピックで銀」、4位「ソフトボール・日本代表がオリンピックで金」、5位「プロ野球・新庄剛志が日本ハム監督に就任」**

全回答者(1,000名)に、今年のスポーツでの出来事で“驚いた出来事”を聞いたところ、「大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍」(167名)がダントツとなり、2位「卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル」(93名)、3位「バスケットボール・女子日本代表がオリンピックで銀メダル」(44名)、4位「ソフトボール・日本代表がオリンピックで金メダル」(35名)、5位「プロ野球・新庄剛志が日本ハム監督に就任」(33名)が続きました。今季のアメリカン・リーグMVP(最優秀選手)に満票で選出されたエンゼルス・大谷翔平選手の大活躍に多くの人が驚きました。また、ビッグボスこと新庄剛志の監督就任が5位に挙がり、新庄新監督の人気度・注目度の高さがうかがえる結果となりました。

男女別にみると、男性では、「プロ野球・オリックスがパ・リーグ優勝」が4位、「プロ野球・ヤクルトがセ・リーグ優勝」が5位となりました。2年連続最下位からの優勝となった両チームの大躍進に驚いた男性は少なくないようです。

世代別にみると、10代・20代では「卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル」が1位、30代以上では「大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍」が1位でした。

**◆今年のスポーツでの出来事で“驚いた出来事” [自由回答形式] ※上位5位までを表示**

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
	名		名		名			
1位	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	167	1位	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	108	1位	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	59
2位	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	93	2位	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	36	2位	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	57
3位	バスケットボール・女子日本代表がオリンピックで銀メダル	44	3位	バスケットボール・女子日本代表がオリンピックで銀メダル	26	3位	ソフトボール・日本代表がオリンピックで金メダル	21
4位	ソフトボール・日本代表がオリンピックで金メダル	35	4位	プロ野球・オリックスがパ・リーグ優勝	23	4位	バスケットボール・女子日本代表がオリンピックで銀メダル	18
5位	プロ野球・新庄剛志が日本ハム監督に就任	33	5位	プロ野球・ヤクルトがセ・リーグ優勝	18		体操・内村航平がオリンピック鉄棒で落下し予選敗退	18

**◆今年のスポーツでの出来事で“驚いた出来事” [自由回答形式] ※上位3位までを表示**

10代[n=166]			20代[n=166]			30代[n=168]		
	名		名		名			
1位	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	20	1位	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	11	1位	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	27
2位	バスケットボール・女子日本代表がオリンピックで銀メダル	8	2位	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	10	2位	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	10
3位	オリンピック・パラリンピックで日本代表が多くのメダルを獲得	6	3位	プロ野球・オリックスがパ・リーグ優勝	7	3位	バスケットボール・女子日本代表がオリンピックで銀メダル	7
	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	6						

40代[n=168]			50代[n=166]			60代[n=166]		
	名		名		名			
1位	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	30	1位	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	40	1位	大リーグ・大谷翔平が二刀流で活躍	54
2位	プロ野球・新庄剛志が日本ハム監督に就任	10	2位	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	22	2位	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	20
	卓球・水谷/伊藤ペアがオリンピックで金メダル	10		3位	体操・内村航平がオリンピック鉄棒で落下し予選敗退		8	3位
							プロ野球・オリックスがパ・リーグ優勝	9


**◆今年の“スポーツ界”を表す漢字「金」がダントツ、2位「輪」3位「静」4位「五」5位「翔」**

今年のスポーツ界を漢字で表すとしたら、どのような漢字をイメージする人が多いのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、今年の“スポーツ界”を表すと思う漢字1字を聞いたところ、「金」(174名)がダントツとなり、2位「輪」(70名)、3位「静」(34名)、4位「五」(25名)、5位「翔」(24名)が続きました。

その漢字を選んだ理由をみると、1位の「金」では、「過去最多の金メダル獲得数だった」や「オリパラでの金メダル獲得数が多かった」など、東京2020オリンピック・パラリンピックにおける日本人選手の金メダル獲得数に関する回答が多くみられました。2位の「輪」では「オリンピックが開催された」や「選手と観客が一丸となって頑張った年だった」、3位の「静」では「無観客の中で競技を行うことが多かった」や「無観客試合が多く、静かで寂しく感じた」、4位の「五」では「オリンピックが盛り上がった」、5位の「翔」では「大谷翔平選手の活躍が特に目立った」といった回答がありました。

**◆今年の“スポーツ界”を表すと思う漢字(1字) [自由回答形式] ※上位10位までを表示**

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
順位	漢字	名	順位	漢字	名	順位	漢字	名
1位	金	174	1位	金	88	1位	金	86
2位	輪	70	2位	輪	29	2位	輪	41
3位	静	34	3位	静	19	3位	静	15
4位	五	25	4位	二	15	3位	躍	15
5位	翔	24	5位	五	14	5位	輝	14
6位	躍	23	5位	無	14	6位	五	11
7位	無	21	7位	忍	13	6位	勝	11
8位	新	20	7位	翔	13	9位	翔	11
	忍	20	9位	熱	11		球	10
10位	勝 / 二	19	10位	新 / 大	10	9位	新	10

**◆今年の“スポーツ界”を表すと思う漢字(1字) [自由回答形式] ※上位3位までを表示**

10代[n=166]			20代[n=166]			30代[n=168]		
順位	漢字	名	順位	漢字	名	順位	漢字	名
1位	金	20	1位	金	32	1位	金	31
2位	輪	9	2位	躍	8	2位	輪	18
3位	勝	8		輪	8	3位	翔	6
40代[n=168]			50代[n=166]			60代[n=166]		
順位	漢字	名	順位	漢字	名	順位	漢字	名
1位	金	36	1位	金	27	1位	金	28
2位	輪	15	2位	輪	13	2位	忍	12
3位	静	7	3位	静	9	3位	翔	10



## ≪今年一年のスポーツ感動ランキング≫

-感動をありがとう！ 今年、感動を与えてくれたスポーツ選手-

## ◆今年、感動させてくれたスポーツ選手

 1位「大谷翔平」2位「水谷隼」3位「伊藤美誠」4位「池江璃花子」5位「上野由岐子」  
 6位「阿部一二三」7位「内村航平」8位「松山英樹」9位「大橋悠依」10位「阿部詩」「堀米雄斗」

全回答者(1,000名)に、今年感動を与えてくれたスポーツ選手を聞いたところ、1位「大谷翔平(野球)」(247名)、2位「水谷隼(卓球)」(106名)、3位「伊藤美誠(卓球)」(81名)、4位「池江璃花子(競泳)」(37名)、5位「上野由岐子(ソフトボール)」(31名)、6位「阿部一二三(柔道)」(25名)、7位「内村航平(体操)」(23名)、8位「松山英樹(ゴルフ)」「大橋悠依(競泳)」(いずれも19名)、10位「阿部詩(柔道)」「堀米雄斗(スケートボード)」(いずれも18名)となりました。

その選手を選んだ理由をみると、1位の「大谷翔平(野球)」では、「野球の本場で数々の偉業を成し遂げた姿を見て元気をもらった」や「二刀流で歴史に残る活躍をした」など、大リーグでの輝かしい活躍を挙げる回答が多数みられました。2位の「水谷隼(卓球)」では「粘り強く健闘してメダルを取った」や「絶体絶命の局面から挽回し、逆転したことが素晴らしかった」、3位の「伊藤美誠(卓球)」では「強い選手を相手に最後まで戦い抜いた」や「不利な状況でも粘り強く戦って勝利を勝ち取った」、4位の「池江璃花子(競泳)」では「病を克服し、オリンピックで活躍した」、5位の「上野由岐子(ソフトボール)」では「長年の努力を裏せたことが素晴らしかった」など、オリンピックでの健闘を称える回答が目立ちました。

また、6位の「阿部一二三(柔道)」では「相手に食らいつく強さと、妹の詩選手に向ける優しい表情に心を打たれた」、7位の「内村航平(体操)」では「諦めない姿勢に心を打たれた」、8位の「松山英樹(ゴルフ)」では「マスターズで優勝し、日本人で初めてメジャーを制覇した」、同じく8位の「大橋悠依(競泳)」では「個人メドレーで二冠を達成した」、10位の「阿部詩(柔道)」では「兄妹揃って金メダルを取った」、同じく10位の「堀米雄斗(スケートボード)」では「オリンピック初の競技で金メダルを取った」といった回答がありました。

## ◆今年、感動を与えてくれたスポーツ選手 [自由回答形式] ※上位10位までを表示

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	大谷翔平(野球)	247	1位	大谷翔平(野球)	161	1位	大谷翔平(野球)	86
2位	水谷隼(卓球)	106	2位	水谷隼(卓球)	39	2位	水谷隼(卓球)	67
3位	伊藤美誠(卓球)	81	3位	伊藤美誠(卓球)	24	3位	伊藤美誠(卓球)	57
4位	池江璃花子(競泳)	37	4位	上野由岐子(ソフトボール)	14	4位	池江璃花子(競泳)	24
5位	上野由岐子(ソフトボール)	31	5位	松山英樹(ゴルフ)	13	5位	上野由岐子(ソフトボール)	17
6位	阿部一二三(柔道)	25		池江璃花子(競泳)	13	6位	内村航平(体操)	16
7位	内村航平(体操)	23	7位	阿部一二三(柔道)	12		阿部一二三(柔道)	13
8位	松山英樹(ゴルフ)	19	8位	山本由伸(野球)	11	7位	堀米雄斗(スケートボード)	13
	大橋悠依(競泳)	19	9位	佐藤輝明(野球)	10	9位	阿部詩(柔道)	12
10位	阿部詩(柔道)/ 堀米雄斗(スケートボード)	18	10位	大野将平(柔道)	9	10位	大橋悠依(競泳)	11





◆最後まで感動を与えてくれたプロ野球・引退選手「松坂大輔(西武)」がダントツ  
 北海道・東北では「斎藤佑樹(日本ハム)」が1位、九州・沖縄では「長谷川勇也(ソフトバンク)」が1位

全回答者(1,000名)に、今年引退を表明したプロ野球選手の中で、“最後まで感動を与えてくれた選手”を聞いたところ、「松坂大輔(西武)」(20.8%)がダントツとなり、2位「亀井善行(巨人)」(8.8%)、3位「斎藤佑樹(日本ハム)」(8.7%)、4位「鳥谷敬(ロッテ)」(8.6%)、5位「長谷川勇也(ソフトバンク)」(4.5%)が続きました。背番号18のユニフォームで引退試合に登板した“平成の怪物”松坂大輔選手の姿に感動した人が多いようです。

男女別にみると、男女とも1位は「松坂大輔(西武)」で、男性では「亀井善行(巨人)」が2位、女性では「斎藤佑樹(日本ハム)」が2位でした。

地域別にみると、北海道・東北では「斎藤佑樹(日本ハム)」が1位、九州・沖縄では「長谷川勇也(ソフトバンク)」が1位となりました。他方、北海道・東北と九州・沖縄以外の地域では「松坂大輔(西武)」が1位でした。

◆今年引退を表明したプロ野球選手の中で、“最後まで感動を与えてくれた選手” [複数回答形式] ※上位5位までを表示

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
		%			%			%
1位	松坂大輔(西武)	20.8	1位	松坂大輔(西武)	26.0	1位	松坂大輔(西武)	15.6
2位	亀井善行(巨人)	8.8	2位	亀井善行(巨人)	14.6	2位	斎藤佑樹(日本ハム)	7.4
3位	斎藤佑樹(日本ハム)	8.7	3位	鳥谷敬(ロッテ)	11.4	3位	鳥谷敬(ロッテ)	5.8
4位	鳥谷敬(ロッテ)	8.6	4位	斎藤佑樹(日本ハム)	10.0	4位	亀井善行(巨人)	3.0
5位	長谷川勇也(ソフトバンク)	4.5	5位	長谷川勇也(ソフトバンク)	6.8	5位	岩田稔(阪神)	2.6

◆今年引退を表明したプロ野球選手の中で、“最後まで感動を与えてくれた選手” [複数回答形式] ※上位3位までを表示

北海道・東北[n=102]			関東[n=428]			北陸・甲信越[n=45]		
		%			%			%
1位	斎藤佑樹(日本ハム)	16.7	1位	松坂大輔(西武)	22.2	1位	松坂大輔(西武)	15.6
2位	松坂大輔(西武)	13.7	2位	亀井善行(巨人)	10.3	2位	亀井善行(巨人)	8.9
3位	谷口雄也(日本ハム)	5.9	3位	斎藤佑樹(日本ハム)	8.2		斎藤佑樹(日本ハム)	8.9

東海[n=110]			近畿[n=173]		
		%			%
1位	松坂大輔(西武)	20.9	1位	松坂大輔(西武)	26.0
2位	山井大介(中日)	10.0	2位	鳥谷敬(ロッテ)	22.5
3位	亀井善行(巨人)	8.2	3位	岩田稔(阪神)/亀井善行(巨人)/斎藤佑樹(日本ハム)	8.1

中国・四国[n=70]			九州・沖縄[n=72]		
		%			%
1位	松坂大輔(西武)	18.6	1位	長谷川勇也(ソフトバンク)	16.7
2位	亀井善行(巨人) 斎藤佑樹(日本ハム) 鳥谷敬(ロッテ)	10.0	2位	松坂大輔(西武)	15.3
			3位	亀井善行(巨人) 鳥谷敬(ロッテ)	6.9



### -東京2020オリンピック・パラリンピックでの感動は？-

◆「東京2020オリンピックを観戦した」73%、60代では82%

◆「東京2020パラリンピックを観戦した」37%、60代では51%

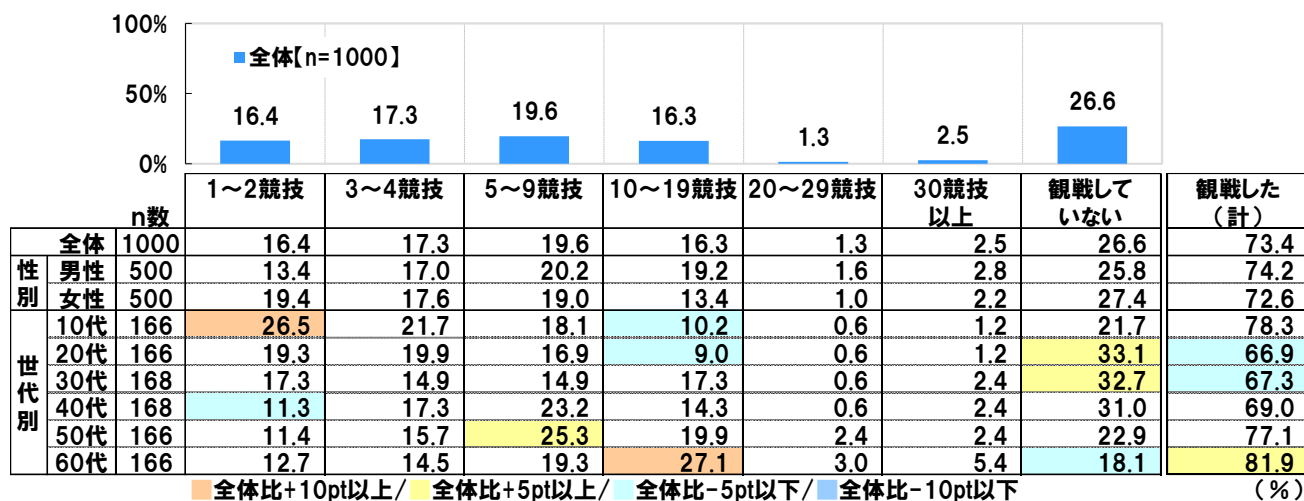
全回答者(1,000名)に、東京2020オリンピック・パラリンピックの観戦(※)について質問しました。

※テレビ観戦、試合会場での観戦など、観戦方法は問わない形で聴取

まず、東京2020オリンピックの観戦競技数をみると、「1～2競技」が16.4%、「3～4競技」が17.3%、「5～9競技」が19.6%、「10～19競技」が16.3%、「20～29競技」が1.3%、「30競技以上」が2.5%となり、『観戦した(計)』は73.4%でした。

世代別にみると、観戦した人の割合は10代(78.3%)や50代(77.1%)、60代(81.9%)では8割前後となり、その他の世代と比べて高くなりました。

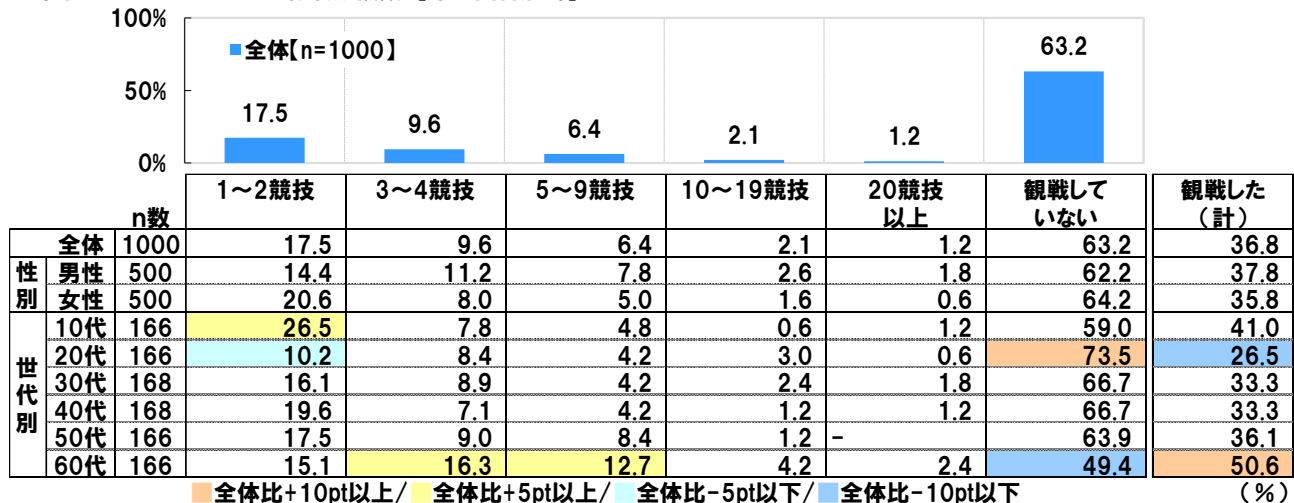
#### ◆東京2020オリンピックの観戦競技数 [単一回答形式]



次に、東京2020パラリンピックの観戦競技数をみると、「1～2競技」が17.5%、「3～4競技」が9.6%、「5～9競技」が6.4%、「10～19競技」が2.1%、「20競技以上」が1.2%となり、『観戦した(計)』は36.8%でした。

世代別にみると、観戦した人の割合は、60代(50.6%)が最も高く、10代(41.0%)が続きました。

#### ◆東京2020パラリンピックの観戦競技数 [単一回答形式]





◆東京2020オリンピックで感動した競技 男性が選ぶ1位「野球・ソフトボール」、女性が選ぶ1位「卓球」  
 10代では「水泳」が3位、30代では「バスケットボール」が3位

東京 2020 オリンピックを観戦した人(734 名)に、東京 2020 オリンピックで感動した競技を聞いたところ、1 位「卓球」(45.2%)、2 位「野球・ソフトボール」(41.4%)、3 位「柔道」(33.8%)、4 位「水泳」(26.0%)、5 位「体操」(23.0%)となりました。卓球で日本初の金メダル獲得という快挙に心を躍らせた人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男性では「野球・ソフトボール」が 1 位、女性では「卓球」が 1 位でした。

世代別にみると、10 代では「水泳」が 3 位、30 代では「バスケットボール」が 3 位となりました。入江陵介選手や池江璃花子選手といった競泳日本代表選手が活躍する姿や、田中大貴選手や八村塁選手といったバスケットボール日本代表選手が見せたプレーは、多くの人に感動を与えたのではないのでしょうか。

◆東京2020オリンピックで感動した競技 [複数回答形式] 対象:東京2020オリンピックを観戦した人 ※上位10位までを表示

全体[n=734]			男性[n=371]			女性[n=363]		
順位	競技	%	順位	競技	%	順位	競技	%
1位	卓球	45.2	1位	野球・ソフトボール	49.3	1位	卓球	50.1
2位	野球・ソフトボール	41.4	2位	卓球	40.4	2位	野球・ソフトボール	33.3
3位	柔道	33.8	3位	柔道	37.2	3位	水泳	30.9
4位	水泳	26.0	4位	水泳	21.3	4位	柔道	30.3
5位	体操	23.0	5位	バスケットボール	21.0	5位	体操	27.8
6位	バスケットボール	22.3	6位	サッカー	20.8	6位	バスケットボール	23.7
7位	スケートボード	19.6	7位	体操	18.3	7位	スケートボード	23.7
8位	サッカー	17.3	8位	陸上競技	17.5	8位	ハレーボール	15.7
9位	陸上競技	16.3	9位	スケートボード	15.6	9位	陸上競技	15.2
10位	フェンシング	12.7	10位	レスリング	12.9	10位	バドミントン	14.3

◆東京2020オリンピックで感動した競技 [複数回答形式] 対象:東京2020オリンピックを観戦した人 ※上位3位までを表示

10代[n=130]			20代[n=111]			30代[n=113]		
順位	競技	%	順位	競技	%	順位	競技	%
1位	卓球	42.3	1位	野球・ソフトボール	45.9	1位	野球・ソフトボール	44.2
2位	野球・ソフトボール	31.5	2位	卓球	30.6	2位	卓球	34.5
3位	水泳	27.7		柔道	30.6	3位	バスケットボール	26.5
40代[n=116]			50代[n=128]			60代[n=136]		
順位	競技	%	順位	競技	%	順位	競技	%
1位	卓球	41.4	1位	卓球	60.9	1位	卓球	57.4
2位	野球・ソフトボール	38.8	2位	柔道	45.3	2位	柔道	46.3
3位	柔道	27.6	3位	野球・ソフトボール	44.5	3位	野球・ソフトボール	44.1



◆東京2020パラリンピックで感動した競技 男性が選ぶ1位「車いすテニス」、女性が選ぶ1位「車いすバスケ」  
30代と60代では「ボッチャ」が1位、50代では「車いすテニス」が1位

東京 2020 パラリンピックを観戦した人(368名)に、東京 2020 パラリンピックで感動した競技を聞いたところ、1位「車いすバスケットボール」(28.0%)、2位「車いすテニス」(27.4%)、3位「ボッチャ」(25.0%)、4位「水泳」(20.9%)、5位「車いすラグビー」(17.1%)となりました。車いすバスケットボール男子日本代表による史上初の銀メダル獲得に感動したという人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男性では「車いすテニス」が1位、女性では「車いすバスケットボール」が1位でした。

世代別にみると、30代と60代では「ボッチャ」が1位、50代では「車いすテニス」が1位となりました。ボッチャ日本代表“火ノ玉ジャパン”の選手が見せた活躍や、2大会ぶり3個目の金メダルを獲得した車いすテニス・国枝慎吾選手のプレーは、多くの人を魅了したのではないのでしょうか。

◆東京2020パラリンピックで感動した競技 [複数回答形式] 対象:東京2020パラリンピックを観戦した人 ※上位10位までを表示

全体[n=368]			男性[n=189]			女性[n=179]		
		%			%			%
1位	車いすバスケットボール	28.0	1位	車いすテニス	28.0	1位	車いすバスケットボール	28.5
2位	車いすテニス	27.4	2位	車いすバスケットボール	27.5	2位	車いすテニス	26.8
3位	ボッチャ	25.0	3位	ボッチャ	24.9	3位	水泳	26.3
4位	水泳	20.9	4位	車いすラグビー	18.5	4位	ボッチャ	25.1
5位	車いすラグビー	17.1	5位	水泳	15.9	5位	車いすラグビー	15.6
6位	陸上競技	15.5	6位	陸上競技	15.3		陸上競技	15.6
7位	卓球	9.0	7位	卓球	9.0	7位	卓球	8.9
8位	トライアスロン	6.3	8位	柔道	7.9	8位	バドミントン	7.3
9位	5人制サッカー/バドミントン/柔道	6.0	9位	ゴールボール	7.4	9位	トライアスロン	6.7
			10位	5人制サッカー	6.9	10位	5人制サッカー	5.0

◆東京2020パラリンピックで感動した競技 [複数回答形式] 対象:東京2020パラリンピックを観戦した人 ※上位3位までを表示

10代[n=68]			20代[n=44]			30代[n=56]		
		%			%			%
1位	車いすバスケットボール	22.1	1位	車いすバスケットボール	27.3	1位	ボッチャ	30.4
2位	ボッチャ	14.7	2位	水泳	25.0	2位	車いすバスケットボール	23.2
3位	車いすテニス/水泳	13.2	3位	車いすテニス	22.7		水泳	23.2
40代[n=56]			50代[n=60]			60代[n=84]		
		%			%			%
1位	車いすバスケットボール	25.0	1位	車いすテニス	43.3	1位	ボッチャ	42.9
2位	ボッチャ	19.6	2位	車いすバスケットボール	35.0	2位	車いすテニス	40.5
3位	車いすテニス	17.9	3位	ボッチャ/水泳	23.3	3位	車いすバスケットボール	33.3



## 《来年のスポーツ界に対する期待》

-もう待ちきれない！ 2022年のスポーツで楽しみにしていることは？-

## ◆2022年、きっと感動させてくれると思うスポーツ

1位「野球」2位「サッカー」3位「フィギュアスケート」4位「卓球」5位「スキージャンプ」、  
「スピードスケート」「スノーボード」はTOP10にランクイン

全回答者(1,000名)に、来年感動を与えてくれると思うスポーツを聞いたところ、1位「野球」(30.8%)、2位「サッカー」(17.9%)、3位「フィギュアスケート」(15.7%)、4位「卓球」(10.0%)、5位「スキージャンプ」(9.8%)、6位「スピードスケート」(8.8%)、7位「水泳」(8.0%)、8位「スノーボード」(7.4%)、9位「テニス」「陸上競技」(いずれも7.0%)となり、北京2022冬季オリンピックの競技である「フィギュアスケート」と「スキージャンプ」、「スピードスケート」、「スノーボード」がTOP10にランクインしました。

男女別にみると、男女とも1位は「野球」で、男性では「サッカー」が2位、女性では「フィギュアスケート」が2位でした。

世代別にみると、10代では「卓球」が2位となり、10代の卓球人気の高さがうかがえる結果となりました。

## ◆来年、感動を与えてくれると思うスポーツ【複数回答形式】※上位10位までを表示

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
		%			%			%
1位	野球	30.8	1位	野球	38.6	1位	野球	23.0
2位	サッカー	17.9	2位	サッカー	22.8	2位	フィギュアスケート	21.0
3位	フィギュアスケート	15.7	3位	スキージャンプ	10.8	3位	サッカー	13.0
4位	卓球	10.0	4位	フィギュアスケート	10.4	4位	卓球	10.8
5位	スキージャンプ	9.8	5位	卓球	9.2	5位	スノーボード	9.2
6位	スピードスケート	8.8	6位	スピードスケート	8.8	6位	水泳	9.0
7位	水泳	8.0	7位	テニス	8.0	7位	スキージャンプ	8.8
8位	スノーボード	7.4	7位	ゴルフ	8.0	7位	スピードスケート	8.8
9位	テニス	7.0	9位	水泳	7.0	9位	体操・新体操	8.0
	陸上競技	7.0	10位	陸上競技	6.8	10位	陸上競技 / 柔道	7.2

## ◆来年、感動を与えてくれると思うスポーツ【複数回答形式】※上位3位までを表示

10代[n=166]			20代[n=166]			30代[n=168]		
		%			%			%
1位	野球	21.1	1位	野球	29.5	1位	野球	28.0
2位	サッカー	14.5	2位	サッカー	15.7	2位	サッカー	18.5
	卓球	14.5	3位	フィギュアスケート	9.0	3位	フィギュアスケート	16.1
40代[n=168]			50代[n=166]			60代[n=166]		
		%			%			%
1位	野球	29.8	1位	野球	37.3	1位	野球	39.2
2位	サッカー	19.0	2位	フィギュアスケート	21.7	2位	フィギュアスケート	25.3
3位	フィギュアスケート	10.7	3位	サッカー	19.9	3位	スキージャンプ	21.1




**◆来年の活躍を期待している選手「大谷翔平」がダントツ**
**2位「羽生結弦」3位「伊藤美誠」4位「池江璃花子」5位「佐藤輝明」、10代では「羽生結弦」が1位に**

また、来年活躍してくれることを期待している選手を聞いたところ、「大谷翔平(野球)」(136名)がダントツとなり、2位「羽生結弦(フィギュアスケート)」(63名)、3位「伊藤美誠(卓球)」(22名)、4位「池江璃花子(競泳)」(19名)、5位「佐藤輝明(野球)」(17名)が続きました。

男女別にみると、女性では「羽生結弦(フィギュアスケート)」が「大谷翔平(野球)」と並んで1位でした。

世代別にみると、10代では「羽生結弦(フィギュアスケート)」が1位、20代以上では「大谷翔平(野球)」が1位となりました。

**◆来年、活躍してくれることを期待している選手〔自由回答形式〕※上位5位までを表示**

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
	名			名		名		名
1位	大谷翔平(野球)	136	1位	大谷翔平(野球)	88	1位	羽生結弦(フィギュアスケート)	48
2位	羽生結弦(フィギュアスケート)	63	2位	羽生結弦(フィギュアスケート)	15		大谷翔平(野球)	48
3位	伊藤美誠(卓球)	22	3位	佐藤輝明(野球)	13	3位	伊藤美誠(卓球)	18
4位	池江璃花子(競泳)	19	4位	久保建英(サッカー)	10	4位	池江璃花子(競泳)	14
5位	佐藤輝明(野球)	17	5位	松山英樹(ゴルフ)	7	5位	紀平梨花(フィギュアスケート)	7
							平野歩夢(スノーボード)	7
							高梨沙羅(スキージャンプ)	7

**◆来年、活躍してくれることを期待している選手〔自由回答形式〕※上位3位までを表示**

10代[n=166]			20代[n=166]			30代[n=168]		
	名			名		名		名
1位	羽生結弦(フィギュアスケート)	13	1位	大谷翔平(野球)	13	1位	大谷翔平(野球)	25
2位	大谷翔平(野球)	9	2位	池江璃花子(競泳)	5	2位	羽生結弦(フィギュアスケート)	10
3位	伊藤美誠(卓球)	7	3位	阿部詩(柔道)	3	3位	池江璃花子(競泳)	5
				伊藤美誠(卓球)	3			
				紀平梨花(フィギュアスケート)	3			
				久保建英(サッカー)	3			
40代[n=168]			50代[n=166]			60代[n=166]		
	名			名		名		名
1位	大谷翔平(野球)	28	1位	大谷翔平(野球)	28	1位	大谷翔平(野球)	33
2位	羽生結弦(フィギュアスケート)	5	2位	羽生結弦(フィギュアスケート)	18	2位	羽生結弦(フィギュアスケート)	17
3位	久保建英(サッカー)	4	3位	佐藤輝明(野球)	7	3位	高梨沙羅(スキージャンプ)	9
	池江璃花子(競泳)	4						



■ 調査概要 ■

《調査タイトル》

今年のスポーツ感動ランキング 2021

《調査地域》

全国

《調査対象》

ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする 15 歳から 69 歳の男女

《調査期間》

2021年11月5日(金)～11月8日(月)の4日間

《調査方法》

インターネット調査

《有効回答数》

1,000 サンプル  
(内訳)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	83	83	84	84	83	83	500
女性	83	83	84	84	83	83	500

《実施機関》

ネットエイジア株式会社 (調査協力 ネットエイジア株式会社)

■ 報道関係の皆様へ ■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、  
「スカパー！調べ」と付記のうえ  
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■ スカパーJSAT 株式会社 概要 ■

組織名:スカパーJSAT 株式会社  
代表者名:代表取締役 執行役員社長 米倉 英一  
設立:1994年11月10日  
所在地:東京都港区赤坂 1-8-1  
事業内容:メディア事業、宇宙事業